

転用を目指す
木造建築

木造モジュール



木造モジュールとは「木造×転用」

「木造モジュール」とは、当社がこれまで長く手掛けてきた仮設・レンタルの建造物を木造で実現できる移設・転用が可能な木造建築のことです。CLTと呼ばれる木質素材と、ATAハイブリッド構法という技術の掛け合わせで誕生しました。

- ① 一般流通材で最大40mの柱のない大空間を確保可能に。店舗、体育館、事務所、倉庫、工場など用途が広い
- ② 短期利用から数年以上の長期設置も可能
- ③ レンタル後は、移設・転用することでコストを抑制（再利用率：80%）

新たな木質素材CLT (Cross Laminated Timber)

CLTは、ひき材の繊維方向が直行するように貼り合わせた合板のこと。

- ① 反りや狂いが少なく、強度が高い
- ② 材料として使える木の種類が多い

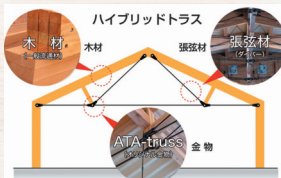
欧州では先行してCLTが普及しており、戸建て住宅や共同住宅、宿泊施設など様々な建造物に活用され、近年、世界的に普及が進んでいる建築材料です。



ATAハイブリッド構法の特長

ATAハイブリッド構法とは、一般に流通している（市販の）木材と、独自の金物・ワイヤーとを組み合わせて使う構法です。

- ① 木材の弱いところを金属で補い、柱のない大空間を実現
- ② 部材がモジュール化されており、組み・バラシ、転用がしやすい



木造モジュールのメリット 「木材の良さを最大限に生かす」

木材ならではの特性で、「工期短縮、低コスト」「現場の省人化」「快適さ」を実現。

メリット	木造モジュールの特性
工期短縮、低コスト	軽量で基礎工事を簡略化できる
現場の省人化	規格化された部材のため、施工が容易
快適さ	遮熱性、遮音性、調湿正

製品紹介



【工期概算】
約5ヶ月

■morena(モリーナ)®

CLTで1400m²の大スパン空間を実現。無柱なため、スポーツイベント、工場などにも活用ができます。

（面積1356.43m² 軒高10.55m 最高高さ11.95m）

■Kibaco(キバコ)

morenaに比べるとコンパクトな形が特長。仮設倉庫や事務所、店舗など、汎用性の高さが魅力です。

（面積318.00m² 軒高3.7m 最高高さ4.6m）



【工期概算】約3ヶ月

活用事例



西尾レントオール 北上営業所 倉庫（面積541.48m² 軒高10.35m 最高高さ10.45m）



兵庫 木造工事事務所（面積396m² 軒高7.35m 最高高さ8.03m）



2025 大阪・関西万博
パビリオンにも活用！

イタリア館



Visual by MCA Visual.
Courtesy of Commissioner General for Italy at Expo 2025 Osaka
<https://www.italyexpo2025osaka.it/>

フィリピン館



Philippine Pavilion / Carlo Calma Consultancy

インドネシア館



Architect by Samudra Dyan Praga
Courtesy of Commissioner General for Indonesia at Expo 2025 Osaka